

子どもたちの来館と理解向上をサポートします【その1】

イタイイタイ病を教育に活用する方策などを検討するため、県内の社会科部会の小学校教員約80名が7月26日資料館を訪れました。参加者は、展示室の5つのコーナーを職員の解説を受けながら見学。各コーナーでは、展示資料や写真などを参考に熱心にメモをとり、学習ポイントを整理されていました。その後の語り部講話では、実際に苦労を重ねてきた患者のご家族の生の声により、教科書だけでは伝わらない、公害の恐ろしさや悲惨さを心に刻み込んでいました。

今回の研修が、次代を担う多くの子どもたちへ、イタイイタイ病の教訓をしっかりと語り継いでいくためのきっかけとなることを期待しています。

また、資料館では、学校などに「無料送迎バス」を提供する「課外学習サポート事業」も実施し、来館をサポートしています。こちらの事業についても、ぜひご利用ください。詳しくは、資料館のホームページをご覧ください。

(URL <http://itaiitai-dis.jp>)



子どもたちの来館と理解向上をサポートします【その2】

【その1】でもご紹介しました「課外学習サポート事業」

この事業を利用して資料館を訪れた学校での見学後アンケートから、引率教員の方々のご意見を一部ご紹介します。

来館を検討中の学校におかれましては、ぜひ、参考にしてください。

多数のご利用をお待ちしています。

引率教員の方々のご意見

■患者の方の苦しみを知り、二度とこのようなことが起こらないように、環境を守っていこうという思いを強くしました。子どもたちが理解を深められるような工夫がたくさんしており、大変勉強になりました。

■素晴らしい施設であることを知人や他の学年の生徒にも伝えていきたいと思えます。

■他の目的で健康パークを訪れた子どもが思わず引き寄せられて一人で見学したそうです。子どもにとって感情に訴える力を持った施設だと感じました。

■語り部のお話を聴くことで、教科書では学ぶことのできない被害者と被害者遺族の苦勞を知ることができました。教科書では、イタイイタイ病についての記述はわずかです。富山県民として、イタイイタイ病とふるさとの人々の努力、苦勞を知ることが、大切なことだと改めて思いました。

■公害の恐ろしさや地域住民の方が一丸となって裁判を起こしたことなどを学習していく上で、とても素晴らしい施設です。送迎バスは、とてもありがたい制度です。

■とても意義ある時間となりました。富山県民として、必ず行くべき施設と考えます。また、公立校は見学を実施すべきと思います。